

がい者スポーツの発展を牽引してきました。

時代の経過とともに、利用者の増加やニーズの多様化に加え、長居障がい者スポーツセンターの老朽化も踏まえ、令和3年11月の戦略会議において、建替えなどの方向性を決定し、令和4年度は基本構想の調査及び検討を進めています。国内では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、障がい者スポーツへの理解・関心が高まり、今後は、デフリンピック2025など、様々な障がい者スポーツに関する競技大会の開催が予定されています。

そうした状況等を踏まえ、障がい者スポーツ振興の中核的な拠点施設として、地域の多様な主体との連携を強化し、障がい者スポーツのさらなる振興を図るとともに、障がいや障がい者スポーツへの理解が深まるよう、効果的な周知・啓発に取り組んでいきます。長居障がい者スポーツセンターの建替えにあたっては、これまで施設が果たしてきた役割のもと、その機能を継承、発展させ、また様々なニーズに対応できるよう、利用者をはじめ関係の皆様のご意見を伺いながら整備を進めていきます。

施設内クラスターも起こること無く令和4年度を終えることが出来ました。今年度より5類相当に引き下げられますが、感染対策を意識しながらも少しずつ取り組みの幅を広げていければと考えております。

利用者の皆さんとの活動の幅を広げていく中で、皆さんの思いや希望を確認しながら活動を行ってまいります。活動や取り組みの中で、自分で選択し自分で決めることが出来るような機会を設けています。自分のことを自分で決めることが自信につながり、一人ひとりがその人らしく心地よく過ごすことが出来るよう支援を行っていきたくと考えています。今後とも引き続きご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

東成区障がい者基幹相談支援センター

管理者 石橋 孝治



☆マイブーム（趣味や最近ハマっていること等）：釣り

よく釣り人を太公望に例えますが、最近の釣りは太公望の頃とは違い疑似餌を動かすせわしないものが流行っており、私も子どもと暇を見つけては東西南

北津々浦々、出かけて釣竿を振っております。もう一つの楽しみは行った先の名物で、特に道の駅は見ているだけでテンションが上がりワクワクします。

さて、釣りと言えば、スマホに大手メーカー等の名前をかたる不審なメールが私にもよく来ます。フィッシング詐欺というものらしく、巧みにサイトへ導き、個人情報や抜き取ったり、金銭的な被害にあうらしいです。クリックしないでいいのかな…？と一瞬戸惑うものもあり、何が本当で何が嘘か判断していく事がとても難解になってきました。

最近是我々の業界にも、様々な関係の方が参入され、中には、残念ながら人権の配慮がなかったり、そもそも支援はおざなりに、お金を得るためだけに、まさに釣り糸を垂らして、虎視眈々と狙っているような悪徳業者も存在し、我々の業務としては、障がい当事者への支援だけでなく、権利擁護の視点にて事業所を支援していくというような業務もできました。

先日、自立支援協議会にて地域の事業所向けに虐待研修を行ないました。印象に残ったのが「我々の仕事は、権利を守る仕事なんだ！」と声高に言いました。という一言でした。今一度、当たり前ともいえるこの理念を大切に、障がいのある方が、好きな事を見

新年度を迎えて ～法人内各施設より～

令和5年度を迎え、法人内の各事業所では管理者をはじめ人事異動がありました。（詳細は5月号に掲載）各事業所の管理者から就任のご挨拶をいただきました。※順不同（4月・5月に掲載）

東成育成園 管理者 長谷 弥朋



☆マイブーム（趣味や最近ハマっていること等）：散歩（家の近所の小川でカワセミを見つけました）

令和5年度も引き続き東成育成園の管理者を拝命いたしました長谷です。よろしくお願いいたします。

たします。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、施設内での取り組みや活動は大きく制限されていましたが、感染対策を徹底したこともあり感染された方はおられましたが、皆さん重症化することなく、